

操業当時の工場を再現した、ゆめおーれ勝山の内部



7月18日(土)～20日(月・祝)は、2階ミュージアムゾーン無料

機業場回想 インタビュー



山岸繁雄さん(76) 栄町3丁目(右)
木下 巖さん(74) 昭和町1丁目(左)

いよいよオープンする「はたや記念館 ゆめおーれ勝山」。その前身は明治時代より羽二重(絹織物)を生産していた機業場でした。この機業場で働いていた山岸繁雄さんと木下巖さんに当時のお話を伺いました。

山岸さんは昭和56年から、木下さんは昭和30年からそれぞれ平成10年の操業停止まで勤めていました。

羽二重(絹織物)の生産は、タテ糸・横糸それぞれ別々の加工工程を経て、最終的に織りの工程に移りますが、原料の生糸はとてもデリケートなため、常に湿度が必要だそうです。そのため、機業場内では生糸の乾燥を防ぐため、天井付近から水を噴霧していました。その当時夏は蒸し暑く、冬は水が凍って作業に支障がすることもあったようです。

平成になってから徐々に外国産の生糸や製品が輸入されるようになり、生産量を増やして対抗するため、勤務が2部制に変更されました。

しかし、原料の生糸が国産からほとんど中国産に変わり、価格が高騰したため、やむなく操業を停止せざるを得なくなったとのこと。

「はたや記念館 ゆめおーれ勝山」として生まれ変わった機業場についてお二人は、「中の様子は変わっているので、少し寂しい気もしますが、外観は変わらないので親しみがありません。」ということでした。そして、「オープンの日は必ず行きますよ。」と感慨深げにおっしゃっていました。

ゆめおーれ勝山 オープンングウィーク イベント案内

7月18日から26日までを、オープンングウィークとして、ゆめおーれ勝山を中心に、さまざまな催しが行われます。ぜひ一度足を運んでみてください。

式典

とき▼7月18日(土) 午前9時30分

かつやまワゴンコイン気圧フェア

とき▼7月18日(土) 正午から午後8時

19日(日)、20日(月) 午前10時～午後8時
内容▼地元特産品などをワゴンコイン(100円または500円)で販売するテント市、本町通り、大清水広場、元禄一番街、サンプラザ会場もあります

記念公演「誰の為にまちづくりか」

とき▼7月18日(土) 午前11時20分～正午

ところ▼市立図書館

講師▼篠原 修氏(政策研究大学大学院教授)

まちなかミニ博物館

とき▼7月18日(土)～26日(日)

ところ▼クリニカ・デ・ふかや(勝山小笠原藩御典医のお屋敷)、中吉座(時絵・映画ポスター展)

お茶会

とき▼7月18日(土) 正午～午後5時

7月19日(日) 午前10時～午後5時

健康チェックコーナー

とき▼7月19日(日) 午前10時～午後5時

花の苗無料配布(先着700人)

とき▼7月19日(日) 午前10時

健康の日まちなかウォーキング

とき▼7月19日(日) 午前9時～10時30分

郷・魅・親・心! 勝山魅力体験

とき▼7月20日(月・祝) 午前9時～午後5時

内容▼(社)勝山青年会議所主催。市内観光スポットを巡ります。参加費1000円。

クラシックカー展示会

とき▼7月25日(土) 正午～午後6時

ふれあいコンサート

とき▼7月26日(日) 午後2時～3時

ゆめおーれカップRC(ラジコン)大会

とき▼7月26日(日) 午前9時～午後5時

まちなか探訪ウォーク!

とき▼7月26日(日) 午前10時～、午後2時

野外ステージ

内容▼期間中、多彩なステージイベントを開催します。特に、20日夜は福井県出身の横田はるな、ナナイロが出演する豪華なコンサートです。

☎ 観光政策課 ☎ 88・8117



広報かつやま7月号 No.656



実際使われていた道具もそのまま残されています



手織り体験ができます



名前も残っている下駄箱